



平成28年2月期 第3四半期決算短信〔日本基準〕(連結)

平成28年1月8日
名

上場会社名 株式会社アークコア 上場取引所
 コード番号 3384 URL <http://www.arkcore.co.jp>
 代表者 (役職名) 代表取締役社長 (氏名) 正渡 康弘
 問合せ先責任者 (役職名) 取締役管理本部長 (氏名) 土屋 勉 (TEL) 03(5837)3611
 四半期報告書提出予定日 平成28年1月14日 配当支払開始予定日 —
 四半期決算補足説明資料作成の有無 : 無
 四半期決算説明会開催の有無 : 無

(百万円未満切捨て)

1. 平成28年2月期第3四半期の連結業績(平成27年3月1日～平成27年11月30日)

(1) 連結経営成績(累計)

(%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
28年2月期第3四半期	2,536	24.8	△15	—	△20	—	△23	—
27年2月期第3四半期	2,032	△34.0	10	△93.7	8	△94.7	17	△83.4

(注) 包括利益 28年2月期第3四半期 △23百万円(—%) 27年2月期第3四半期 17百万円(△83.4%)

	1株当たり 四半期純利益	潜在株式調整後 1株当たり 四半期純利益
	円 銭	円 銭
28年2月期第3四半期	△14.48	—
27年2月期第3四半期	10.34	—

四半期連結経営成績に関する注記

(2) 連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率
	百万円	百万円	%
28年2月期第3四半期	1,576	452	28.6
27年2月期	1,564	495	31.6

(参考) 自己資本 28年2月期第3四半期 451百万円 27年2月期 494百万円

2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
27年2月期	—	0.00	—	12.00	12.00
28年2月期	—	0.00	—	—	—
28年2月期(予想)	—	—	—	10.00	10.00

(注) 直近に公表されている配当予想からの修正の有無 : 無

3. 平成28年2月期の連結業績予想(平成27年3月1日～平成28年2月29日)

(%表示は、対前期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		当期純利益		1株当たり 当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
通期	3,519	22.4	50	393.5	42	530.7	24	130.1	14.63

(注) 直近に公表されている業績予想からの修正の有無 : 無

※ 注記事項

(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動 : 無
(連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動)

新規 一社(社名) — 、除外 一社(社名) —

期中における重要な子会社の異動に関する注記

(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用 : 無

四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用に関する注記

(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 無

② ①以外の会計方針の変更 : 無

③ 会計上の見積りの変更 : 無

④ 修正再表示 : 無

会計方針の変更に関する注記

(4) 発行済株式数(普通株式)

① 期末発行済株式数(自己株式を含む)

28年2月期3Q	1,970,000株	27年2月期	1,970,000株
28年2月期3Q	321,067株	27年2月期	321,067株
28年2月期3Q	1,648,933株	27年2月期3Q	1,667,205株

② 期末自己株式数

③ 期中平均株式数(四半期累計)

発行済株式数に関する注記

※ 四半期レビュー手続の実施状況に関する表示

この四半期決算短信は、金融商品取引法に基づく四半期レビュー手続の対象外であり、この四半期決算短信の開示時点において、金融商品取引法に基づく四半期連結財務諸表の四半期レビュー手続は終了していません。

※ 業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、当社としてはその実現を約束するものではありません。実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。

○添付資料の目次

1. 当四半期決算に関する定性的情報	2
(1) 経営成績に関する説明	2
(2) 財政状態に関する説明	2
(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明	3
2. サマリー情報(注記事項)に関する事項	4
(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動	4
(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用	4
(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示	4
3. 四半期連結財務諸表	5
(1) 四半期連結貸借対照表	5
(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書	6
(3) 四半期連結キャッシュ・フロー計算書	8
(4) 四半期連結財務諸表に関する注記事項	9
(継続企業の前提に関する注記)	9
(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)	9
(セグメント情報等)	9
(重要な後発事象)	9

1. 当四半期決算に関する定性的情報

(1) 経営成績に関する説明

当第3四半期連結累計期間におけるわが国経済は、2015年4月—6月期、7月—9月期（1次速報）のGDP実質成長率がマイナスとなり、大企業において企業収益が改善される傾向にあるものの、財貨・サービスの輸出は減少しております。また、個人消費は小売業の販売額、新車販売台数の減少に伴い、弱含みに推移しておりますが、雇用情勢は有効求人倍率は上昇し、若年層の完全失業率が減少傾向にあります。

当社グループは、平成27年10月に株式会社アークコアライフを設立し、同社においてフィットネス事業を開始したことにより、事業セグメントはバイク事業とフィットネス事業となっております。

当第3四半期連結累計期間における事業別のセグメントの業績は次のとおりであります。

(バイク事業)

当社におけるバイクの買取台数は7,308台(前年同期比2.5%減)、販売台数は7,414台(前年同期比3.1%減)となり、前連結会計年度まで続いていた前年同期比での台数の減少傾向に歯止めがかかりつつありますが、販売単価は前年同期比6%減、粗利単価は同1%減となっております。また、バイク買取に係る広告費単価は同14%増加しております。

前年同期比で売上高及び売上総利益は減少する一方、販売費及び一般管理費は増加しており、収益面では厳しい状況が続いております。

平成26年9月に連結子会社とした株式会社福田モーター商会におけるバイクの販売台数は新車252台（前年同期比3.4%減）、中古車104台（前年同期比12.6%減）となっております。

バイク事業の当第3四半期連結累計期間の売上高2,536百万円、セグメント利益2百万円となりました。

(フィットネス事業)

平成27年10月に株式会社アークコアライフを設立し、同時にフィットネス事業を開始しております。当該事業はエニタイムフィットネスセンターのフランチャイズ店の出店及び運営となりますが、現時点では開店に向けての準備段階であります。このため、フィットネス事業の当第3四半期連結累計期間の売上高は計上しておらず、セグメント損失17百万円となりました。

以上の結果、当第3四半期連結累計期間の売上高2,536百万円（前年同期比24.8%増）、営業損失15百万円（前年同期は営業利益10百万円）、経常損失20百万円（前年同期は経常利益8百万円）、四半期純損失23百万円（前年同期は四半期純利益17百万円）となりました。

(2) 財政状態に関する説明

① 財政状態の分析

(資産)

当第3四半期連結会計期間末において総資産は1,576百万円となり、前連結会計年度末と比較して12百万円増加しました。主な要因としては、金融機関からの借入れにより現金及び預金が31百万円増加したことによるものであります。

(負債)

当第3四半期連結会計期間末において負債は1,124百万円となり、前連結会計年度末と比較して56百万円増加しました。主な要因としては、金融機関からの借入れにより長期借入金12百万円、買掛金が80百万円増加したことによるものであります。

(純資産)

当第3四半期連結会計期間末において純資産は452百万円となり、前連結会計年度末と比較して43百万円減少しております。四半期純損失23百万円の計上と配当金の支払額19百万円による利益剰余金の減少によるものであります。

② キャッシュ・フローの状況

当第3四半期連結累計期間末の現金及び現金同等物は983百万円となっております。当第3四半期連結累計期間における各キャッシュ・フローの状況は次のとおりであります。

(営業活動によるキャッシュ・フロー)

営業活動の結果、得られた資金は70百万円(前年同期は支出した資金91百万円)となりました。主な要因としては、支出した資金としては税金等調整前四半期純損失20百万円の計上及びたな卸資産の増加による減少額16百万円であり、得られた資金としては仕入債務の増加による増加額80百万円、売上債権の減少による増加額36百万円であります。

(投資活動によるキャッシュ・フロー)

投資活動の結果、支出した資金は23百万円(前年同期は得られた資金163百万円)となりました。主な要因としては、差入保証金の差入れによる支出13百万円、有形固定資産の取得による支出7百万円によるものであります。

(財務活動によるキャッシュ・フロー)

財務活動の結果、支出した資金は17百万円(前年同期は得られた資金270百万円)となりました。収入としては、長期借入れによる収入250百万円、支出としては、長期借入金の返済による支出237百万円、社債の償還による支出10百万円、配当金の支払額19百万円であります。

(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明

通期連結業績予想値は、平成27年4月14日に公表いたしました数値からの変更はありません。

2. サマリー情報(注記事項)に関する事項

(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動

該当事項はありません。

(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用

該当事項はありません。

(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

該当事項はありません。

3. 四半期連結財務諸表

(1) 四半期連結貸借対照表

(単位：千円)

	前連結会計年度 (平成27年2月28日)	当第3四半期連結会計期間 (平成27年11月30日)
資産の部		
流動資産		
現金及び預金	985,885	1,017,005
売掛金	70,147	33,199
商品	271,762	311,014
貯蔵品	4,376	4,608
繰延税金資産	9,076	16,383
その他	41,725	31,357
貸倒引当金	△342	△342
流動資産合計	1,382,630	1,413,226
固定資産		
有形固定資産	125,410	94,403
無形固定資産	1,596	1,768
投資その他の資産	54,725	67,536
固定資産合計	181,731	163,708
資産合計	1,564,362	1,576,934
負債の部		
流動負債		
買掛金	23,092	103,807
1年内償還予定の社債	10,000	—
1年内返済予定の長期借入金	278,981	270,740
未払法人税等	3,966	9,092
賞与引当金	8,979	6,590
その他	100,850	71,406
流動負債合計	425,870	461,636
固定負債		
長期借入金	642,542	663,012
固定負債合計	642,542	663,012
負債合計	1,068,412	1,124,648
純資産の部		
株主資本		
資本金	232,825	232,825
資本剰余金	260,535	260,535
利益剰余金	94,635	50,972
自己株式	△93,045	△93,045
株主資本合計	494,950	451,286
新株予約権	1,000	1,000
純資産合計	495,950	452,286
負債純資産合計	1,564,362	1,576,934

(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書

四半期連結損益計算書

第3四半期連結累計期間

(単位：千円)

	前第3四半期連結累計期間 (自平成26年3月1日 至平成26年11月30日)	当第3四半期連結累計期間 (自平成27年3月1日 至平成27年11月30日)
売上高	2,032,995	2,536,966
売上原価	1,330,954	1,695,718
売上総利益	702,040	841,248
販売費及び一般管理費	691,535	856,363
営業利益又は営業損失(△)	10,505	△15,115
営業外収益		
受取手数料	1,887	1,810
雑収入	1,355	1,114
その他	707	446
営業外収益合計	3,951	3,371
営業外費用		
支払利息	5,775	8,821
その他	300	396
営業外費用合計	6,076	9,217
経常利益又は経常損失(△)	8,379	△20,961
特別利益		
受取保険金	-	1,647
負ののれん発生益	11,342	-
特別利益合計	11,342	1,647
特別損失		
災害による損失	-	1,647
特別損失合計	-	1,647
税金等調整前四半期純利益又は税金等調整前 四半期純損失(△)	19,722	△20,961
法人税、住民税及び事業税	2,102	10,828
法人税等調整額	387	△7,913
法人税等合計	2,489	2,915
少数株主損益調整前四半期純利益又は少数株 主損益調整前四半期純損失(△)	17,232	△23,876
四半期純利益又は四半期純損失(△)	17,232	△23,876

四半期連結包括利益計算書
第3四半期連結累計期間

(単位：千円)

	前第3四半期連結累計期間 (自平成26年3月1日 至平成26年11月30日)	当第3四半期連結累計期間 (自平成27年3月1日 至平成27年11月30日)
少数株主損益調整前四半期純利益又は少数株 主損益調整前四半期純損失(△)	17,232	△23,876
その他の包括利益		
その他の包括利益合計	-	-
四半期包括利益	17,232	△23,876
(内訳)		
親会社株主に係る四半期包括利益	17,232	△23,876

(3) 四半期連結キャッシュ・フロー計算書

	(単位：千円)	
	前第3四半期連結累計期間 (自平成26年3月1日 至平成26年11月30日)	当第3四半期連結累計期間 (自平成27年3月1日 至平成27年11月30日)
営業活動によるキャッシュ・フロー		
税金等調整前四半期純利益又は税金等調整前四半期純損失(△)	19,722	△20,961
減価償却費	9,527	16,940
貸倒引当金の増減額(△は減少)	△552	-
賞与引当金の増減額(△は減少)	△11,090	△2,389
役員賞与引当金の増減額(△は減少)	△9,000	-
受取利息及び受取配当金	-	△236
支払利息	5,775	8,821
為替差損益(△は益)	△17	37
創立費償却額	-	319
負ののれん発生益	△11,342	-
売上債権の増減額(△は増加)	19,386	36,947
たな卸資産の増減額(△は増加)	12,449	△16,919
仕入債務の増減額(△は減少)	△39,746	80,715
その他の流動資産の増減額(△は増加)	8,964	3,201
その他の流動負債の増減額(△は減少)	△21,020	△28,205
その他	△1,986	△1,226
小計	△18,930	77,044
利息及び配当金の受取額	-	566
利息の支払額	△6,056	△9,442
法人税等の支払額又は還付額(△は支払)	△66,417	2,286
営業活動によるキャッシュ・フロー	△91,404	70,454
投資活動によるキャッシュ・フロー		
定期預金の預入による支出	△1,201	△1,350
有形固定資産の取得による支出	△4,355	△7,949
無形固定資産の取得による支出	△550	△720
関係会社株式の売却による収入	6,000	-
貸付金の回収による収入	-	4,055
差入保証金の回収による収入	17	-
差入保証金の差入による支出	△548	△13,893
出資金の払込による支出	△10	△50
創立費の支払による支出	-	△319
保険積立金の積立による支出	△345	-
連結の範囲の変更を伴う子会社株式の取得による収入	164,857	-
その他の支出	△4	△3,000
投資活動によるキャッシュ・フロー	163,859	△23,226
財務活動によるキャッシュ・フロー		
短期借入金の返済による支出	△58,330	-
長期借入れによる収入	500,000	250,000
長期借入金の返済による支出	△122,992	△237,771
社債の償還による支出	△20,000	△10,000
新株予約権の発行による収入	1,000	-
自己株式の取得による支出	△29,099	-
配当金の支払額	-	△19,649
財務活動によるキャッシュ・フロー	270,578	△17,420
現金及び現金同等物に係る換算差額	17	△37
現金及び現金同等物の増減額(△は減少)	343,049	29,770
現金及び現金同等物の期首残高	551,418	954,222
現金及び現金同等物の四半期末残高	894,468	983,992

(4) 四半期連結財務諸表に関する注記事項

(継続企業の前提に関する注記)

該当事項はありません。

(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)

該当事項はありません。

(セグメント情報等)

前第3四半期連結累計期間(自 平成26年3月1日 至 平成26年11月30日)

当社の事業セグメントは、バイク事業のみの単一セグメントであるため、セグメント情報の記載を省略しております。

当第3四半期連結累計期間(自 平成27年3月1日 至 平成27年11月30日)

1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位：千円)

	報告セグメント		四半期連結損益 計算書計上額(注)
	バイク事業	フィットネス事業	
売上高	2,536,966	—	2,536,966
セグメント利益又は損失(△)	2,224	△17,339	△15,115

(注) セグメント利益又は損失(△)は、四半期連結損益計算書の営業利益と一致しております。

2. 報告セグメントごとの固定資産の減損損失又はのれん等に関する情報

該当事項はありません。

3. 報告セグメントの変更等に関する事項

当第3四半期会計期間において、完全子会社の株式会社アークコアライフを設立し、同社でフィットネス事業を開始したことに伴い、報告セグメントに「フィットネス事業」を追加しております。

(重要な後発事象)

自己株式取得

当社は、平成27年12月10日開催の取締役会において、会社法第165条第3項の規定により読み替えて適用される同法第156条の規定に基づき自己株式を取得することについて以下のとおり決議し、実行いたしました。

1. 取得理由：当社の主要株主による当社株式の売却意向に伴う株式の過剰流動性のおそれ等を勘案したため。
2. 取得する株式の種類：普通株式
3. 取得する株式の数：410,000株（上限）
4. 株式取得価額の総額：185,730千円（上限）
5. 自己株式取得の日程：平成27年12月11日
6. 取得方法：名古屋証券取引所 自己株式立会外買付取引（N-NET3）